

公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事業報告

はじめに

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、福岡型ワーケーション推進による新たな旅のスタイルの普及、修学旅行等による都市圏周遊を推進し、新たな体験・滞在型コンテンツを造成するなど、需要喚起に取り組んだ。

MICEにおいては、コロナ禍における開催ニーズに応えるべく、オンライン配信に必要な施設環境の整備や主催者の安全対策を支援するとともに、ポスト・コロナ期を見据えてオンラインも含めた営業活動や情報発信を強化するなど、地域経済の回復と活性化に向けた取り組みを行った。

1 福岡の魅力づくり

福岡市の食、歴史、文化、祭り、自然などの観光資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来福者のニーズを把握しながら、地域と連携した受入環境の向上に取り組んだ。

(1) 地域資源を活かした観光振興

地域資源を活かした体験プログラムの開発、まち歩きの企画・実施、観光情報の発信などを行った。

① まち歩きコースの企画・実施

歴史資源などの活用に加え、新スポットの開発、英語、オンラインなど多様なニーズに応えるまち歩きを企画・実施した。

- ア まち歩きコース（募集分）〔2回、参加者数：25名〕
- イ まち歩き（ガイド派遣）〔64回、参加者数：530名〕
- ウ オンライン〔1回、参加者数：113名〕

② 福岡市観光案内ボランティアの運営〔登録数：58名〕

- ア 「博多町家」ふるさと館、天神観光案内所で観光案内
- イ スキルアップ研修の実施



＜スキルアップ研修＞

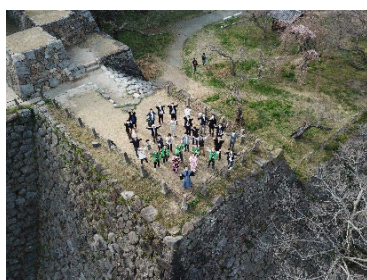
③ 観光情報の発信

- ア 観光情報サイト「よかなび」での情報発信〔イベント等：244件〕
- イ 「まち歩き」の動画を制作しSNS等で配信〔14回配信（歴史、文化など）〕

④ 体験型観光の振興

- ア 地域・事業者と連携した体験型観光コンテンツの開発、商品化
〔福岡城におけるドローン空中記念撮影（7月販売開始）利用者数：8組〕

- イ 三の丸スクエア内「舞遊の館」の委託運営、※一時休業：5/12～6/20、8/9～9/30
〔利用者数：940 名〕
- ウ 福岡城「御城印」の販売〔販売数：3,507 枚（300 円/枚）〕
- エ 福岡おもてなし武将隊〔活動回数：7 回〕



<福岡城ドローン撮影>



<御城印>



<おもてなし武将隊>

(2) 祭りの振興

※「博多どんたく港まつり」は開催中止「博多祇園山笠」は飾り山笠を建設・公開（舁き山笠は延期）
本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」や「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のため運営、支援を行う。

(3) 福岡検定の実施

福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡検定をオンラインで実施した。

	申込者数	受験者数	合格者数
2 年度	840 名	811 名	552 名
3 年度	657 名	626 名	414 名

(4) 受入環境の向上

来訪者が安全安心かつ快適に過ごすことができるよう、観光案内機能の強化など受入環境の整備に取り組んだ。

① 観光案内機能の強化

デジタルを活用した非対面・非接触によるリモート観光案内を市内 4 か所で実施した。

〔設置場所：ライオン広場、福岡国際会議場、博多駅総合案内所、福岡空港〕

〔利用者数：計 1,849 名（7 月 21 日～3 月 31 日）〕



<リモート観光案内（左：ライオン広場、右：博多駅総合案内所）>

② 観光案内所(博多駅・天神)の管理・運営 ()内は対前年度比

	利用者数	うち外国人
博多駅	107,571 名 (109.2%)	2,199 名 (87.3%)
天神	60,405 名 (96.3%)	308 名 (118.0%)

※リモート観光案内の件数を含まない

※一時休業(電話による案内のみ) : 5/12～6/20、8/9～9/30

③ 観光サービス業従事者向け研修の企画・運営

[3月10・11日 福岡空港視察、参加者数:約50名]

④ ウェルカムサポーターの運営

福岡城英語ツアーガイドを養成(20名)し、福岡城英語ガイドトライアルツアーを実施した。



<オンライン研修>



<トライアルツアー>

⑤ 観光ガイドブック・観光マップの発行

[ガイドブック:3万部、マップ:7万部]

2 観光客の誘致・受入

地域や関係団体・機関と連携しながら、福岡型の新たな観光スタイルの推進により、観光客の誘致を促進する事業を実施した。

(1) 修学旅行等による都市圏周遊の推進

都市圏の自治体等と連携し、福岡市内に宿泊する修学旅行等の受入れに取り組むことで、都市圏を含む周遊観光を推進し、観光産業の活性化を図った。

[修学旅行:69校、10,655名、社会科見学・校外学習:31校、2,938名]

① 修学旅行等に係る交通費(貸切バス)の支援

[利用実績:89件、388台]

② 体験学習プログラムの開発・運用等の支援

[新規プログラム開発:28件、プログラムへの参加者数:29件、2,580名]

③ 修学旅行専用サイト等での情報発信



<修学旅行専用サイト「福岡修学旅行 NAVI」>

(2) 福岡型ワーケーション推進事業

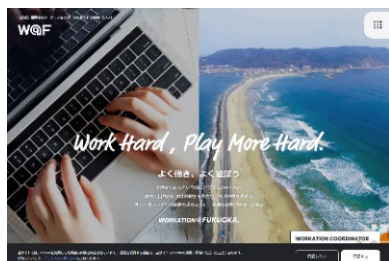
福岡市の魅力であるビジネス環境の良さや、都市機能と自然が近接したコンパクトシティの特徴を活かした「福岡型ワーケーション」を推進する事業を実施した。

① ワーケーションを推進する事業者(パートナー)の募集及び専用サイトでの情報発信

〔パートナー数：162 事業者〕

② ワーケーション旅行商品の企画・造成、販売促進

〔旅行商品造成数：26 商品（旅行会社 11 社）、利用泊数：412 泊〕



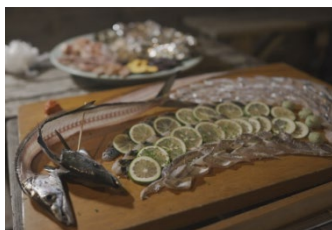
＜ワーケーション専用サイト＞



＜ワーケーション参加企業同士の交流＞

(3) 観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」

「新たな旅のスタイル促進事業」のモデル地域に採択され、参加した首都圏企業にワーケーションのトライアルプログラムを提供。都心部での執務やビジネス交流、郊外部でのフィールドワークなどを実施し、プログラムで提供した観光コンテンツの一部商品化に繋がった。



＜旅館と遊漁船が連携した新たな体験商品＞



＜環境に配慮した電動トゥクトゥク運行＞

(4) 海外誘致宣伝事業 ※事業中止

市場動向・ニーズを把握しながら、地域・事業者・関係団体と連携した体験型コンテンツをデジタルでの情報発信などを行う。

(5) 多様な連携

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市、在福岡外国公館との情報交換・連携を実施した。

〔九州観光推進機構、九州主要都市観光協会連絡協議会、福岡県観光連盟、福岡地区観光協議会、在広州日本国総領事館など〕



＜日本観光ショーケース in 大阪・関西（宗像市、柳川市等と共同出展）＞

3 MICEの誘致・支援

コンベンション等のオンライン化や規模縮小など、MICEにおける新型コロナウイルス感染症の影響が続いているが、現地開催とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催など、新たなMICE需要を開拓・支援するとともに、より質が高く、地域経済への波及効果が高いMICE誘致を目指し、オンライン商談等を通じて積極的な営業活動を実施した。

(1) MICEのハイブリッド開催支援事業

MICE主催者向けにハイブリッド開催に係るオンライン配信経費や安全対策費、MICE施設向けにオンライン配信用機材購入費等を助成し、安全なMICE開催を支援した。

- ① MICE主催者（M・I）向けハイブリッド開催助成金の交付〔交付件数：5件〕
- ② MICE主催者（C・E）向けハイブリッド開催助成金の交付〔交付件数：92件〕
- ③ MICE施設向けハイブリッド開催助成金の交付〔交付件数：21件〕

(2) Withコロナ期におけるMICE誘致・支援事業

グローバル人材を活用した海外主催者とのオンライン商談やSNS等での情報発信を継続し、ポスト・コロナ期に向けての国際コンベンション等誘致に取り組んだ。訪日インセンティブツアーについては、オンライン商談に加えて、北欧の旅行社向けプロモーション（2～3月）を現地旅行会社に委託するなど新規市場開拓を行った。

(3) コンベンションの誘致

新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベント規制や移動制限等が長期化する中、オンラインを活用した商談や主催者向けセミナーを実施した。

〔誘致実績〕

	国内コンベンション (参加者1,000名以上)	国際コンベンション
令和2年度	38件	17件
令和3年度	38件	14件



＜第36回国際病理アカデミー国際会議
「JNTO国際会議誘致貢献賞」受賞＞

① コンベンションの誘致活動

ア 地元・首都圏等でのセミナー開催や個別営業

〔大学教職員向けセミナー〕

- ・福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学合同セミナー
9月13日 オンライン開催（学内から配信） 参加者数39名
- ・福岡大学病院 学内コンベンションセミナー
11月29日 ハイブリッド開催（学内から配信） 参加者数24名

〔首都圏等でのセミナー〕 ※事業中止

イ MICE主催者等の招聘 ※事業中止

ウ 国内外MICE主催者対象のオンラインFAMトリップ（視察ツアー）※事業中止

② MICE見本市・商談会への参加

国際コンベンション等の誘致を目的に、国内外のMICE見本市・商談会にオンラインで参加した。

見本市・商談会名	開催期間	開催場所	商談件数
MPI WEC Vegas	6月15日～17日	オンライン	11
Associations World Congress	7月5日～8日	オンライン	6
ICCA総会	10月24日～27日	オンライン	8
JNTOシンガポール国際会議セミナー 商談会	12月8日	オンライン	5
国際MICEエキスポ（IME）	2月16日～17日	オンライン	16
AIME	3月28日～4月1日	オンライン	24

③ 地元学術界・産業界とのネットワーキング ※事業中止

市内主要大学でのMICEセミナー開催や、産学官連携によるサイトビジットツアー（産業視察ツアー）などを実施する。

④ マーケティング活動 ※事業中止

MICEアンバサダーとの連携や、海外及び首都圏とのネットワークを活用する。

(4) コンベンションの支援

コンベンションの事前準備段階から開催に至るまで、主催者のニーズに応じた支援・サービスを実施した。

① 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成 ※交付実績なし

② コンベンションサポート事業〔サポート件数：87件〕

コンベンション主催者に対して、会場施設や各種助成金の案内、賛助会員の紹介などを行った。

(5) MICE人材育成事業〔登録者数：198名〕

MICE業界を担う人材の育成を図るため、大学生を対象に、MICEの基礎を学ぶオンラインセミナー、コンベンション施設の視察、オンライン開催された国際会議の視察、イベントの企画・運営体験、英会話講座など、10プログラムを実施した。

(6) コンベンション関係団体との連携

国内外のコンベンション関係団体との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、コンベンション誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行った。

① 九州各都市コンベンション協会との連携

九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会の事務局として、11月の総会（宮崎）、3月の実務担当者会議（福岡）を実施し、首都圏でのMICE合同商談会の実施計画や訪日インセンティブツアー誘致における連携強化等について協議した。



<実務担当者会議>

② MICEの国際ネットワーク活用

MICE関係者の世界ネットワークである「Meeting Professionals International (MPI)」、インセンティブツアー業界のネットワーク「Society of Incentive Travel Excellence (SITE)」での活動に加えて、6月から新たにMICEハイブリッド開催推進都市のネットワーク「Hybrid City Alliance (HCA)」に加盟し、各国のMICE市場動向などに関する情報収集や国際学協会向けの共同プロモーションを行った。

(7) インセンティブツアーの誘致

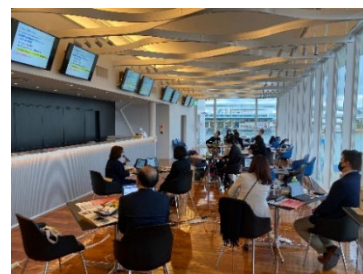
① インセンティブツアー誘致活動

市場別オンライン商談会に参加し、国内外の旅行会社と商談を実施した。

名称	開催期間	開催場所	商談件数
JNTOフランス訪日旅行商談会	9月21日	オンライン	8
九州インバウンド観光商談会	9月29日～10月1日	オンライン	7
JNTO北京インセンティブセミナー商談会	10月20日	オンライン	87
JNTOタイインセンティブセミナー 商談会	11月2日	オンライン	8
JNTOマレーシア/フィリピン インセンティブセミナー 商談会	11月9日	オンライン	10
JNTO豪州訪日旅行商談会	11月10日、17日	オンライン	18
JNTOインドネシアインセンティブ セミナー商談会	11月17日	オンライン	8
JNTOシンガポールインセンティブ セミナー商談会	12月7日	オンライン	7
JNTO台北インセンティブセミナー 商談会	2月9日	オンライン	8
JNTO台中インセンティブセミナー 商談会	2月10日	オンライン	8
Visit Japan Travel Mart	3月1～3日	オンライン	27

② 観光庁「海外からのインセンティブ旅行誘致に関わるコンベンションビューロー等機能高度化事業」

福岡市が観光庁の支援対象都市に選ばれたことを受けて、10月7日、12月2日、1月31日の3回にわたり、誘致戦略の立案から実践的な取り組みまで、実務研修を受講した。



＜実務研修＞

③ 体験プログラムの開発及び情報発信

訪日インセンティブツアー向けのおもてなし体験プログラムガイドを更新し、国内外の旅行社に提供した。

4 広報・情報発信

情報発信を戦略的に展開していくとともに、観光・MICEに関するトピックや統計情報などの提供を行った。

- (1) 財団ホームページ及び「よかなび」の管理運営
- (2) 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行〔年4回、各2,500部発行〕
- (3) 海外メディアへの情報提供〔情報提供：5件〕
- (4) SNSを活用した国内・国外（英語、中国語）への情報発信、財団ホームページの改修
- (5) 宿泊など統計情報の収集・提供



<財団ホームページ（改修後）>

5 賛助会員・組織運営

賛助会員向けの交流会を実施したほか、会議・展示会などの情報提供を行った。また、観光コンテンツの企画・開発などを行った。

(1) 賛助会員サービス

① 賛助会員交流会の開催

〔12月3日福岡国際会議場、会場参加者数：約100名、オンライン参加者数：約80名、ビジネスマッチング件数：約50件〕



<講演会>



<ブース展示>



<ビジネスマッチング>

- ② 賛助会員・事業者向けのデジタルマーケティングセミナーの開催 ※事業中止
- ③ コンベンションスケジュールの作成、提供
- ④ メールマガジンで最新情報などを配信〔市支援施策等の情報提供〕
- ⑤ 財団ホームページ、機関誌によるPRなど

(2) 観光コンテンツの企画・開発

賛助会員と連携し、福岡の食、歴史、文化、自然などを活かした観光コンテンツの企画・開発を行った。



<福岡城さくらまつり期間限定メニュー>



<鴻臚館での人力車散策サービス>